

～茅ヶ崎の都市資源を知る100日間～

ちがさき丸ごとふるさと発見博物館企画展 2014/2015
「丸ごと100ー茅ヶ崎を知る100の機会一展」を開催します！



茅ヶ崎市のエコミュージアム事業・ちがさき丸ごとふるさと発見博物館では、市民のみなさんに、ふだんにげなく暮らす茅ヶ崎の都市資源について知っていただき、「ふるさとちがさき」の魅力を再発見していただくキャンペーン、企画展「丸ごと100ー茅ヶ崎を知る100の機会一展」を開催します。

同企画展は、11月21日（金）からの全100日間に、茅ヶ崎の都市資源について知ることができる100の機会をご提案するものです。

市民ボランティアと行政の協働事業推進体制のもと、さまざまなテーマの「講座・講演会」や「まち歩きツアー・自然観察会」、市内全域を巡るスタンプラリーなど、さまざまな企画をご用意しています。

茅ヶ崎を知る100の機会は、市民ボランティアが中心となって編集した、企画展を楽しんでいただくための冊子「わたしの都市資源ノート」でご覧いただけます。

ぜひこの機会にご自身だけの「わたしの都市資源」を見つけてください！

- 1 開催期間 平成26年11月21日（金）～平成27年2月28日（土）＜全100日間＞
- 2 開催場所 茅ヶ崎市内全域
- 3 企画展を楽しむための冊子・

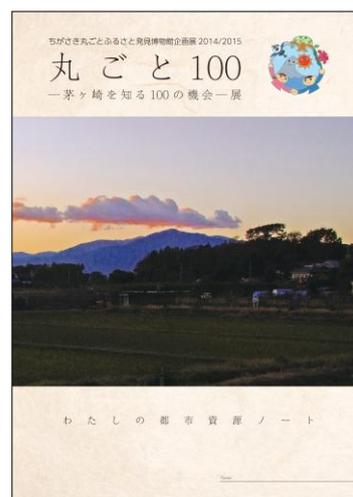
「わたしの都市資源ノート」

配布場所： 茅ヶ崎市文化資料館、各公民館、
茅ヶ崎市観光案内所、茅ヶ崎市美術館、
茅ヶ崎市関高健記念館、県立茅ヶ崎里山公園、
市役所社会教育課で

平成26年11月12日（水）から配布。

発行部数： 5,000部（なくなり次第終了）

仕様： A4版、24ページ、オールカラー



4 企画展の見どころ

茅ヶ崎を知る100の機会として、たとえば・・・

「講座・講演会」で学ぶ「機会」が全部で 35!

毎週金曜日の夜、「ちがさき丸ごと博物館講座」で、さまざまな都市資源を学べます。
「下寺尾官衙遺跡群」「イサム・ノグチ」「自転車」・・・など、テーマはいろいろ！
講座の企画運営は、市民ボランティアが中心になって行っています。
その他、市役所各課による講座も盛りだくさん！



ちがさき丸ごとふるさと発見博物館講座
平成26年11月21日(金)～平成27年2月27日(土)の毎週金曜日(平成27年1月2日を除く)の夜19時～20時30分、茅ヶ崎市民ギャラリー創作室5階創作室BCで開催！
各回定員30名。各回とも当日18時から会場で整理券を配布します。

「まち歩き・自然観察会」で学ぶ機会が全部で 18!

まち歩き企画に参加して、みんなで茅ヶ崎の都市資源を巡ります。
「大山道」「文化人めぐり」「柳島周辺」・・・など、コースや地域はいろいろ！



まち歩き「茅ヶ崎の大山道を歩く」
平成26年12月6日(土)9時～13時頃
江戸時代、大山詣で賑わった道を「ちがさき丸ごとふるさと発見博物館の会」や文教大学の学生のみなさんと歩きます。
定員20名(申し込み先着順)。11月21日(金)から電話で受付開始(市教育委員会社会教育課)。

ほかにも19ポイントをめぐる市内スタンプラリーや、年中行事やお祭り、茅ヶ崎の文化財や野鳥についての書籍・動画など、茅ヶ崎を知ることができる「機会」に触れてください！

※「エコミュージアム」とは・・・

1960年代後半にフランスで始まった考え方です。住民と地域を関連づける文化的遺産等を対象として、それらを保護・保存し、調査・研究し、時には育てる機能をもった、地域環境そのものが博物館であるとする考えであり、運営する者も利用する者も、地域住民であることを大きな特徴としています。住民が、自分たちの地域の未来のために、自分たちの考えと力で運営していく姿勢を特に重要視しています。

従来の博物館と比較するなら、博物館が建物に収集品を展示する活動を行うのに対し、エコミュージアムはある一定の地域に点在する遺産や無形の記憶を対象とし、博物館内部の学芸員と公衆の役目を、エコミュージアムでは地域住民が担います。

茅ヶ崎市のエコミュージアム・「ちがさき丸ごとふるさと発見博物館」では、茅ヶ崎を愛する市民のみなさんとともに、茅ヶ崎の都市資源を調査・研究し、説明板やマップ、ガイドコースをつくるなどして、その意味や魅力を発信する活動を進めています。